

「放送セミナー2022 in 広島」 開催報告

○日時 令和4年1月19日(水) 14:00～16:30

○場所 TKPガーデンシティ広島駅前大橋 カンファレンスルーム6E
(広島市南区京橋町1-7 アスティ広島京橋ビルディング)

○主催 中国総合通信局、中国情報通信懇談会

○実施内容

第一部では、中国総合通信局で令和元年度から2年間開催した「臨時災害放送局の高度化に関する調査検討」の概要について、NHKテクノロジーズ 営業企画部 岩木部長から説明があり、第二部では、中国放送 ラジオ局 畑局長から「いま、ラジオ注目されている理由」と題して、AMラジオ開始から100年が経過する中で視聴環境の劇的な変化していることや東日本大震災などの災害によりラジオメディアが見直されてきたことやラジオの放送ネットワークの強靱化によるFM転換の必要性などの紹介がされ、その後、山口放送 技術局 恵良局長から「FM補完放送「エフエムKRY」の取り組み」と題して、エフエムKRYを瀬戸内側(92.3MHz)、山陰側(86.4MHz)の2波で同期放送を実施していることや、テレビ・新聞などを活用した周知広報、さらに、同期技術、トンネル対策の取組などの紹介がありました。

本セミナーのプログラム等は次のとおり。

・開会挨拶 中国情報通信懇談会 放送部会 部会長 染岡 慎一
(安田女子大学 学長補佐 家政学部 造形デザイン学科長 教授)

・第1部 挨拶 : 広島市立大学大学院 教授 西 正博 氏

演題 : 『臨時災害放送局の高度化に関する調査検討』の概要

講師 : 株式会社NHKテクノロジーズ 営業企画部 部長 岩木 昌三 氏

・第2部 演題 : 『いま、AMラジオが注目されている理由』

講師 : 株式会社中国放送 ラジオ局長 畑 和行 氏

演題 : 『FM補完放送「エフエムKRY」の取り組み』

講師 : 山口放送株式会社 技術局長 恵良 勝治 氏

・閉会挨拶 総務省中国総合通信局放送部長 宗政 幹彦

○ライブ視聴者数 135名 (Zoom 視聴者数)

自治体、放送事業者、通信事業者、工事施工業者等から参加がありました。